

海老名の学校給食

安全でおいしい給食を子どもたちへ

問就学支援課 0235(4)921

海老名市で日々作られる全13小学校の学校給食は約7800食。12校分約7300食は「食の創造館」で、東柏ヶ谷小学校分約520食は自校で作っています。海老名市が提供する安全でおいしい給食には、たくさんの方の思いが詰まっています。



えびなの学校給食のあゆみ

昭和48年5月 さつき町に「学校給食センター」開設。市内小・中学校の完全給食開始

昭和48年 プレート・汁椀・先割れスプーンを採用

昭和53年4月 上河内に「南部学校給食センター」開設

昭和56年9月 中学校完全給食をミルク給食に切り替える

昭和58年5月 米飯給食(委託炊飯)を開始

平成5年 食器改善で大皿・小皿・汁椀・トレー・フォーク・スプーンに変更

平成20年1月 東柏ヶ谷小学校の単独調理給食開始

平成23年4月 中学校給食のミルク給食に加え、給食弁当注文方式による学校給食を開始

平成24年9月 学校給食センターと南部学校給食センターを廃止し、多機能給食センター「食の創造館」を中新田に開館

平成24年 食の創造館での炊飯開始に伴い、茶碗を追加

より安全な食器へ

児童が日々使う給食用食器。現在PEN樹脂製の食器に順次入れ替えを行っています。この食器はこれまでのポリプロピレン製に比べ耐キズ性が高く、汚れが付きにくいのが特徴。薬品にも強いので、塩素消毒にも耐えられます。

子どもたちが給食の時間をより楽しく過ごせるようにとの思いを込めて、デザインには市イメージキャラクターのえび〜にゃを採用しています。



グレーと紺を基調にした鉄骨造2階建ての建物
【所在地】中新田4-12-2



市の学校給食

昭和48年5月、さつき町に学校給食センターを開設し、小学校の学校給食が始まりました。児童の増加に伴い、53年4月には上河内に南部学校給食センターを開設。その後、施設の老朽化や耐震診断の結果などにより、両センターは廃止し、平成24年9月に両センターの機能を統合した「食の創造館」を中新田に開設しました。現在は、20年1月に開設した東柏ヶ谷小学校の給食調理室と合わせて、全13小学校の給食を賄っています。

中学校給食は、希望者向けの「給食弁当注文方式」で学校給食(8頁)を行っています。

開設当初の学校給食センター



開設当初の南部学校給食センター



給食調理のメイン施設「食の創造館」

学校給食の調理機能を備えた市の給食施設です。小学校給食の調理だけではなく、幼稚園年長児への給食の提供や高齢者同士のコミュニティ事業「ふれあいランチ」での給食提供も行っています。このほか、災害時には炊飯や調理などの炊き出しができる設備(7頁)や、食に興味のある方々が講習会などで使用できる会議室・調理実習室などを備えています。